

出張報告届

2025年 5月29日

吹田市議会議長様

会派名 参政党
代表者氏名 久保 直子
出張者氏名 久保 直子

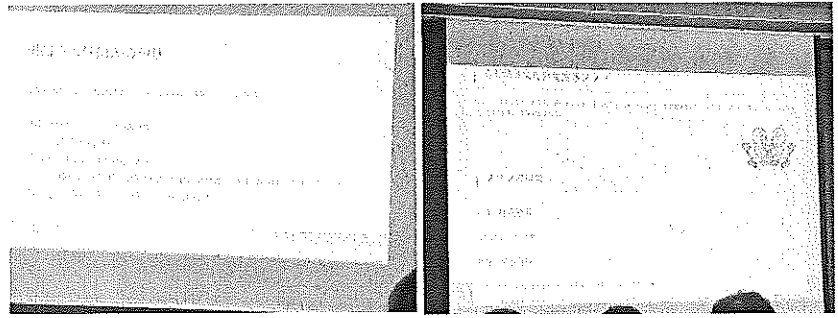
下記のとおり出張したので届け出ます。

記



出張先	鳩ヶ谷公民館 (埼玉県川口市坂下町3-2-2)
期間	令和7年 5月15日から5月15日まで 1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	

報告書 「埼玉県川口市 視察」 参政党 吹田市議会議員 久保直子



講師 宇山卓栄さん

1975年、大阪生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。元代々木ゼミナール世界史科講師。自民党公募で2015年大阪府議会議員選挙に出馬したが落選。以後、テレビ、ラジオ、雑誌、ネットなど各メディアで、時事問題を歴史の視点で解説を行っている。2022年、北米・中南米を9か月旅行し実地調査を行う。

著作

[編集]

- 『世界「民族」全史 衝突と融合の人類5000年史』日本実業出版社、2023年
 - 『民族と文明で読み解く大アジア史』講談社、2022年
- 『「宗教」で読み解く世界史：教養として知っておきたい』日本実業出版社、2020年
- 『「王室」で読み解く世界史：教養として知っておきたい』日本実業出版社、2020年
 - 『韓国暴政史：「文在寅」現象を生み出す社会と民族』扶桑社、2019年
- 『世界史で読み解く「天皇ブランド」：国際教養が身につく「21世紀の君主論」』悟空出版、2019年

令和7年5月15日(木)

鳩ヶ谷公民館

(埼玉県川口市坂下町1-5-8)

【視察概要】

- 1, 講師の講話
- 2, 川口市議から川口市政についての講話
- 3, 川口市民による外国人問題について(対話形式)
- 4, 川口市内視察(マイクロバスにて)

【視察を終えて】

クルド人の問題はマスコミなどでも大きく取り上げられていますが、川口市民で被害にあっている方もいれば、そうでない方もいて、YouTuberは大袈裟な所もある一方で、切実な市民の話からは子供達の奇声や深夜の騒音、暴走族について等の深刻さもあるという話をまず伺いました。

クルド人は難民申請を繰り返し、不法滞在者であるにもかかわらず、高級車に乗り贅沢な暮らしをしている者もいます。解体業で食べているのですが、不法投棄をする等の規制通りの仕事をしない事から

大儲けをしている実態があります。日本の業者が800万円だとすると、同じ見積りで200万円程だという事。不法滞在をしている事で、市民税などの税金は支払っていないが法人税は納めているとの事です。そのバックには、お世話をしている政治家、警察、検察等、ここには上げられない人達、地域の利権の話（全国的）があるのでは。ここで詳細を上げることはできませんが、この問題は川口市だけの問題ではなく、愛知県などにもクルド人は移動しており、今後、移民受け入れが広がり、様々な規制が追い付かない状態では、全国的に同様の課題が広がる事でしょう。

学校教育現場の目に見えての問題について、現場の大変さを元教師として痛感しました。3人に1人は外国人であり、日本語を話せない子供達の授業妨害の話が問題となっている学校もあります。外国人保護者のマナーが悪すぎて危険だという事で、運動会が中止になった学校もあります。また、ここはどこ？という程外国人の店や従業員であふれる街もありました。また、市営住宅地の1階には、中国語で書かれた看板が立ち並ぶ商店街もあり、外国人が今急激に増加している事を実感しました。

夜間中学校の現状を視察に行く予定でしたが、行政側の突然のキャンセルにより叶いませんでした。自治体の現状を明らかにする必要性を感じています。

市民の皆さんと、この様な現状をどうすれば良いか？という事を交流する時間を持ちました。私が、導いた結論は、「地域のつながりを強くして、地域を守る！」という事です。しかし、地域住民にその責任を担わせるのは、あまりにも過酷ではないでしょうか。日本人にばかり、外国人との共生社会への注意喚起を行うのではなく、外国人に、地域住民と気持ちよくルールやマナーを守るための心構えも教育する事は必要不可欠です。他国に住むという事は、その地域の歴史や文化を尊重し、社会を混乱させないようにするという事は礼儀ではないでしょうか。人材不足なのは承知ですが、日本語を話すという事も含め、教育分野の充実を図る事も非常に重要であると思います。地域住民が、我慢するか引越すかの二択を迫られるのではなく、司法・行政・立法が必要な法の規制を進める事は急務です。しかし、現状は被害にあった方が、左翼、メディア、人権派の嫌がらせを受ける事もあると伺ったことがあります。これは大問題ではないでしょうか。

昨今、政府は重大な事件を起こした外国人を不起訴にしたり、高額医療を受けて保険料を支払わずに母国に帰ったり、外国人留学生には国税から授業料等が支払われたりという不可解なことを進めています。

多文化共生どころか、日本の治安が脅かされ日本という国体そのものが変えられようとしています。地域住民の声・存在・安全・暮らしを守るのは誰なのでしょう。市民の声に寄り添い、市民の想いを実現するのが政治です。今必要なのは、「国益を優先する」という政治家・官僚・公共サービスに従事する者の覚悟です。そのために必要なのは郷土愛と愛国心です。戦後の教育で持たされた歴史認識を改め、100年先の国家の在り方をしっかりと考えなければ、社会の混乱は深まるばかりではないでしょうか。

吹田市では、外国人の問題として、国民健康保険料の滞納率が日本人よりも外国人の方が多いこと、全国的な問題と同様生活保護で暮らす外国人の存在等がありますが、今後吹田市でも川口市と同様の問題が表出することも大いに考えられるため、対岸の火事ではなく我が事として問題を捉える必要があります。他の自治体の課題は我が国の課題であり決して切り離されるものではありません。日本を好きで気持ちよく暮らしたい外国人のためにも、日本人がしっかりしないといけないのではないのでしょうか。

参政党 吹田市議会議員 久保直子